

|        |  |                            |           |                                |
|--------|--|----------------------------|-----------|--------------------------------|
| 学校教育目標 | 「明日に向かってともにのびる子」<br>子どもたちがお互いの良さや可能性を認め合い、自分に誇りをもって自分らしく生きられるようにします。<br>○進んで学習したり、考えを交換したりできる場を大切に、ともに成長していくことができるようにします。(知)<br>○自分のよさや友だちのすばらしさに気づき、人のかかわりの中で、自分らしさが発揮できるようにします。(徳)<br>○自然とのふれ合いや人のかかわりを通して、健康な心と体を育みます。(体)<br>○まちを愛し、思いやりをもって進んでかかわっていく子どもを育てます。(公)<br>○課題解決に向けて進んで取り組み、最後までやりぬく子どもを育てます。(開) |                            |           |                                |
|        | 創立 54 周年<br>児童生徒数: 264 人   | 学校長 鈴木 由香里<br>主な関係校: 新井中学校 | 副校長 三ヶ月 章 | 2 学期制<br>一般学級: 10<br>個別支援学級: 2 |

|   |   |  |
|---|---|--|
| 教育課程全体で<br>育成を目指す資質・能力                  | 上菅田中<br>ブロック  | 小中一貫教育推進ブロックにおける<br>育成を目指す資質・能力を踏まえた<br>「9年間で育てる子ども像」と具体的取組  |
| <協働して課題解決する力><br><言語能力><br><自分づくりに関する力> | 上菅田中学校<br>新井中学校<br>上菅田笹の丘小<br>学校<br>新井小中坂坂分<br>校<br>新井小学校 | 自ら学ぶ子ども。仲間や地域とともに学ぶ子ども。<br>・小中合同授業研究会等を通じ、小中の学びの実態や各教科等の課題を共有。<br>・個別の支援計画の引き継ぎをはじめ、丁寧な情報交換を元に、特別支援教育を推進。<br>・地域協働本部と連携した「小中合同キャリア教育体験学習」等の取組の推進。<br>・学校運営協議会を母体とした、地域に開かれた学校運営の協働 |

|        |  |
|--------|--|
| 中期取組目標 | ○自分や友だちを大切に、「自分らしく」「共に」生きる子どもの育成を目指します。<br>・1年目は、学ぶ楽しさが実感できる、わかる授業、みんなが参加できる授業づくりを推進します。<br>・2年目は、言語能力を高め、自分の言葉で自分の考えを語るができるようになります。<br>・3年目は、互いの思いを伝え合うことで、自分の考えをさらに深めることができるようになります。<br>○人との関わりや体験を通して、自己肯定感を高め、夢や目標をもって生きていこうとする子どもを育てます。<br>・3年間を通して、公共心や規律心、相手を思いやる心を育て、自己有用感を高めます。 |
|--------|--|

| 重点取組分野                                    | 具体的取組  |
|---|--|
| <b>知</b> 授業改善<br>担当 学習評価委員会               | ①全教科にわたってより分かりやすい授業づくりを行い基礎・基本の定着をめざす。<br>②体験的な学習を取り入れるなど、学習の流れを工夫する。<br>③ICT機器を積極的に取り入れ、授業の中で効果的に活用できるようにする。  |
| <b>徳</b> 道徳教育<br>担当 人権委員会・道徳部             | ①善悪を正しく判断し、社会のルールを守る規範意識や相手を尊重する心を育てるために、全教育活動を通して取り組み、道徳教育の充実を図る。<br>②異学年との交流を通して、思いやり・協力する心・集団の中で役割意識を育む。<br>③YPを活用して学級づくりや児童指導に生かし、子どもたちの豊かな社会性を育む。                             |
| <b>体</b> 健康教育<br>担当 体育部                   | ①多様な研修を行い、子どもたちが安全に意欲的に学習できるようにする。②新体力テストの結果をもとに、子ども達が興味をもって継続して体作りに取り組み意欲を高めていく。③学校保健委員会を中心に、必要なテーマを決めて、各クラスで取り組む。  |
| <b>公開</b> 自分づくり教育<br>(キャリア教育)<br>担当 特別活動部 | ①地域ボランティアの効果的な活用を推進し、地域の人との関わりの中から公共心や規律心、感謝の心を養う。<br>②「自分づくりパスポート」を活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の変容や成長を自己評価できるようにする。  |
| <b>いじめへの対応</b><br>担当 いじめ対策防止委員会           | ①いじめ防止対策委員会で情報共有を行うとともに、認知案件への対応や未然防止のための取組について検討する。<br>②職員会議で情報共有し、全職員で組織的かつ一貫した支援を行うとともに、児童の様子を細やかに見取ることができる体制を整える。<br>③生活アンケートを活用して、児童の実態把握に努める。また、把握した情報については共有するとともに、迅速に対応する。 |
| <b>人材育成・組織運営(働き方)</b><br>担当 教務部           | ①ミドルリーダーを中心に、職員の要望に応じたメンターチームの年間計画を年度初めに立て、授業研や実技研、職員の交流を行う。<br>②ICTを活用することで、事務の効率化や情報の共有化を図るとともに、全職員の組織的な働き方改革につなげる。  |
| <b>地域連携</b><br>担当 教務部                     | ①コロナ禍での学校教育活動に対して、サポートチームの協力を得て、内容の検討・工夫を行う。②地域との連携を維持するために、Webページなどを活用して学校教育活動を発信する。③学習計画について、スクールサポーターの方々と相談するとともに、学校から内容の提案を行うことを通して、より協働して課題解決のできる学習を工夫する。                     |
| <b>特別支援教育</b><br>担当 特別支援教育委員会             | ①Y-Pアセスメントを活用して児童の実態把握に努める。支援が必要な児童について担任が特別支援教育Coと相談しながら支援策を検討し、実施していく。②支援が必要な児童に対して、児童支援専任や特別支援教育Co、SC、SSWが中心となり、外部機関等と連携を図りながら適切な支援を行う。③特別支援教室の充実を図り、児童本人や保護者のニーズに応じた支援体制を整える。  |
| <b>安全管理</b><br>担当 安全部                     | ①交通安全・防犯に対する取り組みを他機関との連携も図りながら実施し、特に防犯について、さらに児童の意識を高めていく。<br>②訓練の事前事後の教師の打ち合わせを綿密に行うとともに、振り返りカードを活用しながら児童の自己防衛力を高める安全指導を実施していく。   |
| <b>児童・生徒指導</b><br>担当 いじめ対策防止委員会           | ①新井小ルールブックをもとに、全職員が一貫した指導を行う。<br>②学年と専任、養護教諭や管理職とが連携し、組織的に児童指導を行う体制を整える。<br>③年2回実施するY-Pアセスメントを活用して児童の実態把握に努めるとともに、適切なプログラムを実施し社会的スキルを育むことにより、問題行動の未然防止を図る。                         |